

## スラロームルール 改正事項

### 1. 道具の規制

JPWA におけるスラローム競技のプロクラスにおいて、選手は 3 本のボード、6 枚のセイルで 1 シーズンを戦わなければならない。また、選手は、自身の名前で登録した道具を使用しなければならない。ただし、JPWA において開催されるアマチュアクラスはその限りではないが、プロクラス参加のアマチュア選手には適応される。

ボードの幅は 85 cm より広くてはならない。

セイルは 10.0 m<sup>2</sup> より大きくてはならない。

ボード、セイルは JPWA の登録プロセスによって登録されなければならない。また、その時々 JPWA スラローム委員会の判断によって詳細は変更される。

基本 PWA ルールに準ずる。

### 2. 道具の登録

- (a) 選手はカスタム、プロダクションを問わず 3 本のボードを登録できる。登録されたボードはどれを使用してもレースに参加できる。

6/3 ルールは 2011 年沖縄戦から導入され用具の登録を行う。ただし PWA のスケジュールの関係上、日本国内におけるニューエキップメントリリース時期を考慮し用具の登録を 4 月以降の大会で再度行う。JPWA JAPAN PRO TOUR 戦は 1 月から 12 月までとし用具の登録は年度制の 4 月～3 月までとする。

2011 年に関しては沖縄戦にて用具を登録し 4 月以降の最初の大会に再登録、その時点から 1 年間の用具登録となる。(2012 以降 4 月のみの登録)

- (b) 選手は 6 枚のセイルを登録できる。登録されたセイルはどのセイルを使用してもレースに参加できる。

- (c) 登録はその年選手が参加する最初大会のレジストレーション時に道具の登録をしなければならない。また、登録された道具は残りのシーズンすべてで使用する道具とする。仮に選手がその時期に限度に満たない数の道具を登録した場合、その後の大会での追加の道具登録を行うことはできず、1 シーズンを規定に満たない道具で戦わなければならない。(アマチュア選手はその限りではない項目 (d) による)

- (d) A・B 会員は初戦にボード 2 枚・セイル 4 枚を登録していたとしても、あとで残りのボード 1 枚とセイル 2 枚を追加可能。プロ会員のエキップメント追加は不可とする。登録後、以降 1 年間は JPWA 主催大会での登録エキップメント以外の使用を禁止する。

- (e) A・B 会員は掛川戦においてのみ、エキップメントをフルオープンとする。

年度の中間でモデルチェンジや買い替えにともなう、道具の入れ替えは認める。た

だし原則として、年度初めに登録したエキップメントとほぼ同等のものとする。その裁量に関しては、SL 委員会で判定をする。

- (f) 登録された道具はスラローム委員会または大会関係者によってスタンプまたはマークを付けられる。
- (g) 登録予定の道具をその年の最初の大会までに持ち合わせていない場合、モデル名、サイズのみ登録をすることができる。ただし、道具が手元に届き実際に大会で使用する場合は、使用前に速やかにスラローム委員会にてスタンプまたはマークを付けなければ使用できない。

### 3. 道具の交換

- (a) ボードやセイルが故意ではない理由で破損した場合、スラローム委員会は同一のボードやセイルへの交換を許可する。ボードやセイルの交換はスラローム委員会のみが承認できるものとする。ボードやセイルは可能な限りリペアーをして使用するものとする。使用不能に陥った場合で同一モデルのボードやセイルが見つからない場合、スラローム委員会によって類似するタイプやサイズの道具が認められた場合、代わりに使用することができる。
- (b) 同一のプロダクションのボードやセイルは詳細な調査なしに大会の間換に交換することができるが、交換した旨をスラローム委員会に報告し、使用する大会の時に記載されたシリアルナンバーを登録するとともにスタンプまたはマークを付けなければならない。
- (c) シーズン中にボードやセイルのスポンサーに大きな変更があった場合、選手は新しいスポンサーの道具への変更を申し出ることができる。
- (d) シーズン途中に翌年度モデルがリリースされた場合、道具の入れ替えを申し出ることができる。
- (e) アマチュア選手に限り同一サイズのボードやセイルは大会ごとに入れ替えをすることができる。ただし、入れ替えをする場合速やかにスラローム委員会に届出を行い承認された場合スタンプまたはマークを付けた後使用することができる。

### 4. 道具のリペアー

破損した道具のリペアーは登録されたボードやセイルの元のスペックと全く同じにリペアーされなければならない。ボードやセイルが元のスペックと異なった状態にリペアーされて使用した場合は、未登録ボード使用とみなしペナルティーの対象となる。

## 5. 道具の調査およびペナルティー

道具の調査はスラローム委員及び大会関係者によって行われる。選手は大会進行中のいかなる状況でも調査の依頼を受けなければならない。調査を拒否した場合その大会において失格とされる場合がある

登録されている道具や詳細が登録道具に適応しない道具を使用した場合その大会において失格処分とする。また、プロ選手においては反則金三万円とする。

### ウエイトジャケット

ウエイトジャケットを使用する場合、レジストレーション時に前もってスラローム委員会もしくは大会実行委員によって検査を受けなければならない。検査を受けてないウエイトジャケットを使用した場合そのレースは失格処分とする。ウエイトジャケットはそれ単体で浮かなければならず、測定は水深 30～50 センチほど沈めた状態から手を離し測定を始め、自然に浮かび上がるものでなければならない。